

# 第18回「秋田県内企業の景気動向調査」結果

(平成27年11月調査)

～ 業況は引き続き停滞、先行きも慎重な見通し ～

## 【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「**自社の業況DI値(前年同期比)**」で見ると、▲7.8(前回調査比0.7ポイント下落)と**小幅ながら再び悪化に転じた**。「各種DI値(前年同期比)」をみると、「**人員人手**」を除く3項目が悪化している。
- **業種別**に「自社の業況DI値(前年同期比)」をみると、建設業が▲8.8(前回調査比3.3ポイント上昇)、卸・小売業が▲5.1(同2.8ポイント上昇)、サービス業が▲5.8(同4.0ポイント上昇)と3業種で改善した一方、**製造業は▲11.8(前回調査比12.7ポイント下落)と3期ぶりに悪化し、「悪い」超に転じた**。
- **地域別**に「自社の業況DI値(前年同期比)」をみると、県北が▲9.2(前回調査比1.8ポイント上昇)、県南が0.0(同2.6ポイント上昇)と改善した一方、中央は▲11.3(同3.2ポイント下落)と悪化した。**県南では2期連続の改善**となり、5期続いていた「悪い」超状態を脱している。
- **先行き見通し**は、「自社の業況DI値」が▲17.5(今回調査比9.7ポイント下落)と引き続き悪化が見込まれている。

## 【 特別調査 】

- **冬季ボーナス**について尋ねたところ、全業種で見ると「支給する」と回答した企業の割合は61.1%(前年比1.5ポイント上昇)と、前年に比べて若干上昇した。

平成27年12月

株式会社フィデア総合研究所

## 目次

I. 県内企業の業況.....	1
1. 概況.....	1
2. 業種別の動向.....	2
(1)業種別の概況.....	2
(2)業種別DI値の動向.....	3
① 建設業.....	3
② 製造業.....	4
③ 卸・小売業.....	5
④ サービス業.....	6
3. 地域別の動向.....	7
(1)地域別の概況.....	7
(2)地域別DI値の動向.....	8
① 県北.....	8
② 中央.....	9
③ 県南.....	10
II. 景気の天気予報図.....	11
III. 特別調査.....	12
1. 冬季ボーナスについて.....	12
(1)支給予定動向.....	12
(2)支給予定額.....	14
<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>.....	16
<参考資料Ⅱ：調査の概要>.....	16

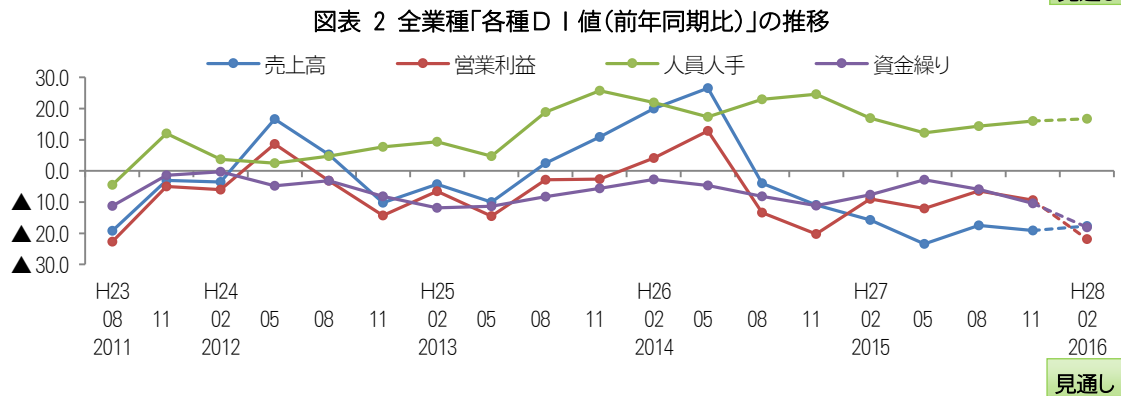
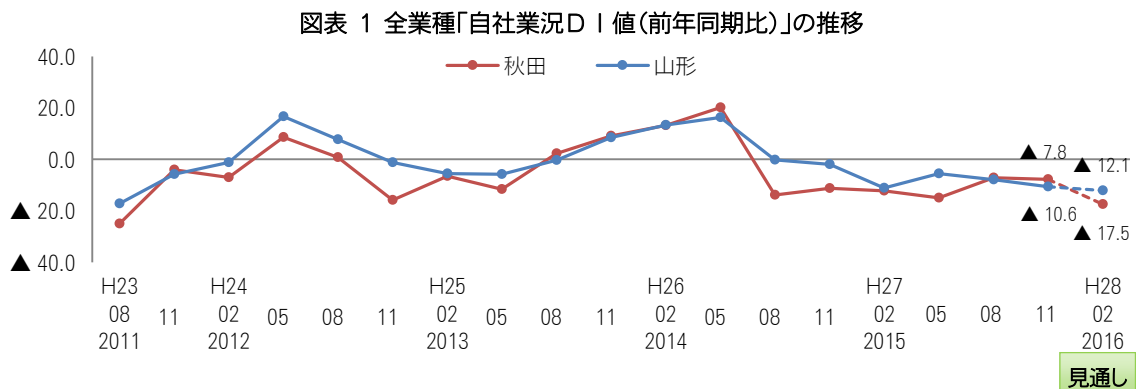
## I. 県内企業の業況

### 1. 概況

～ 業況は引き続き停滞、先行きも慎重な見通し ～

県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況D I 値(前年同期比)」でみると、▲7.8(前回調査比 0.7ポイント下落)と小幅ながら再び悪化に転じた。「各種D I 値(前年同期比)」をみると、「人員人手」を除く3項目が悪化している。平成26年8月調査以降「自社の業況D I 値(前年同期比)」は「悪い」超で推移しており、物価の上昇による消費マインドの回復の遅れや円安による原材料価格の高騰、中国経済の減速などから、業況は停滞傾向にあるものと考えられる。

先行き見通しは、「自社の業況D I 値」が▲17.5(今回調査比 9.7ポイント下落)と引き続き悪化が見込まれている。



前年同期比の自社の業況D I 値

全業種 調査時 (サンプル数)	自社の業況 (前年同期比)			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
H 26.11 (n=431)	▲11.2	2.7	▲8.5	▲10.9	▲20.2	24.6	▲11.1
H 27.02 (n=433)	▲12.2	▲1.0	▲20.9	▲15.7	▲9.0	16.9	▲7.6
H 27.05 (n=435)	▲15.0	▲2.8	▲20.8	▲23.4	▲12.0	12.2	▲2.8
H 27.08 (n=423)	▲7.1	7.9	▲12.8	▲17.5	▲6.4	14.4	▲5.9
H 27.11 (n=424)	▲7.8	(▲0.7)	▲11.1	▲19.1	▲9.4	16.0	▲10.4
前回調査比	-	-	-	(▲1.6)	(▲3.0)	(1.6)	(▲4.5)
先行き見通し	▲17.5	-	-	▲17.7	▲21.9	16.7	▲18.1
今回調査比	(▲9.7)	-	-	(1.4)	(▲12.5)	(0.7)	(▲7.7)

※ 「売上高」D I 値は、建設業の「完成工事高」を含んだ値。

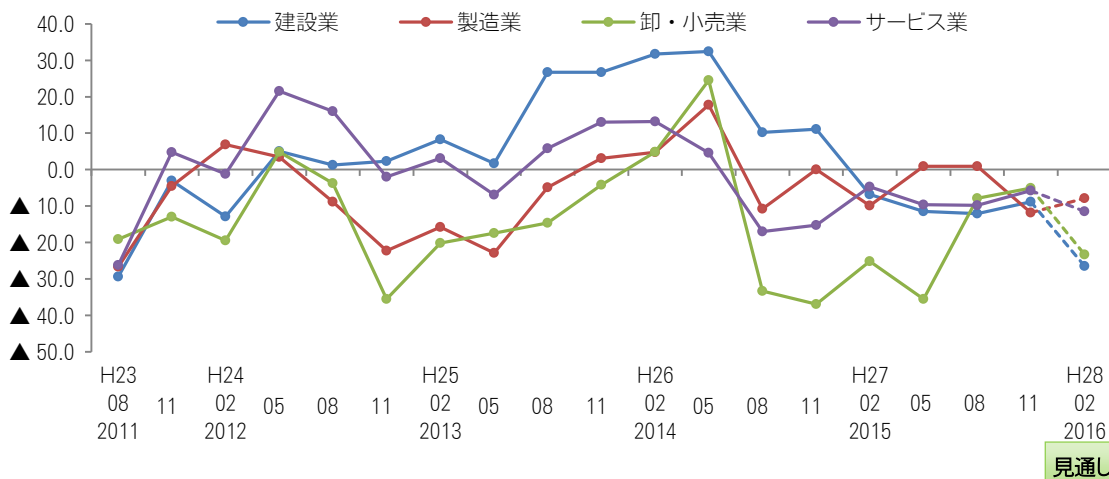
## 2. 業種別の動向

### (1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況DI値(前年同期比)」をみると、建設業が▲8.8(前回調査比3.3ポイント上昇)、卸・小売業が▲5.1(同2.8ポイント上昇)、サービス業が▲5.8(同4.0ポイント上昇)と3業種で改善した一方、製造業は▲11.8(同12.7ポイント下落)と3期ぶりに悪化し、「悪い」超に転じた。この背景としては、原材料価格の高騰が続いていることに加え、中国経済の減速による影響があるものと考えられる。

業況の先行き見通しは、建設業、卸・小売業、サービス業で悪化、製造業では改善が見込まれている。

図表 3 業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況DI値

業種別 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
H 26.11 (n=431)	▲11.2	11.1	0.0	▲36.9	▲15.2
H 27.02 (n=433)	▲12.2	▲6.8	▲9.9	▲25.2	▲4.7
H 27.05 (n=435)	▲15.0	▲11.5	0.9	▲35.5	▲9.6
H 27.08 (n=423)	▲7.1	▲12.1	0.9	▲7.9	▲9.8
H 27.11 (n=424)	▲7.8	▲8.8	▲11.8	▲5.1	▲5.8
前回調査比	(▲0.7)	(3.3)	(▲12.7)	(2.8)	(4.0)
先行き見通し	▲17.5	▲26.5	▲7.9	▲23.3	▲11.5
今回調査比	(▲9.7)	(▲17.7)	(3.9)	(▲18.2)	(▲5.7)

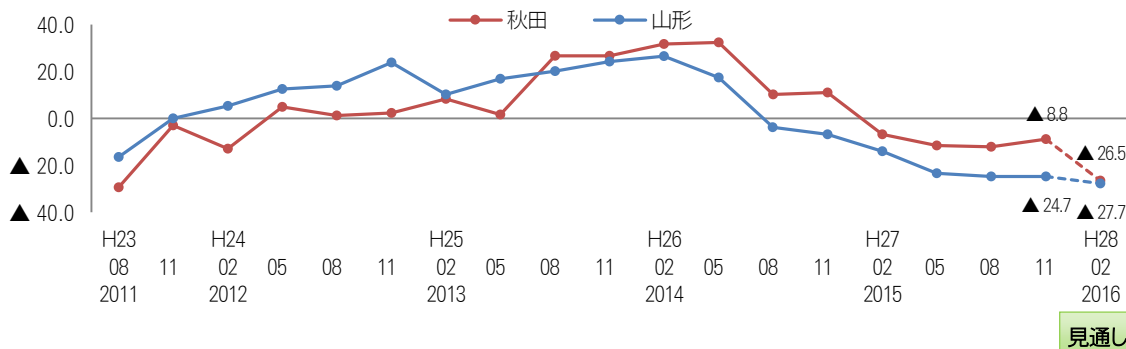
## (2)業種別D I 値の動向

### ① 建設業

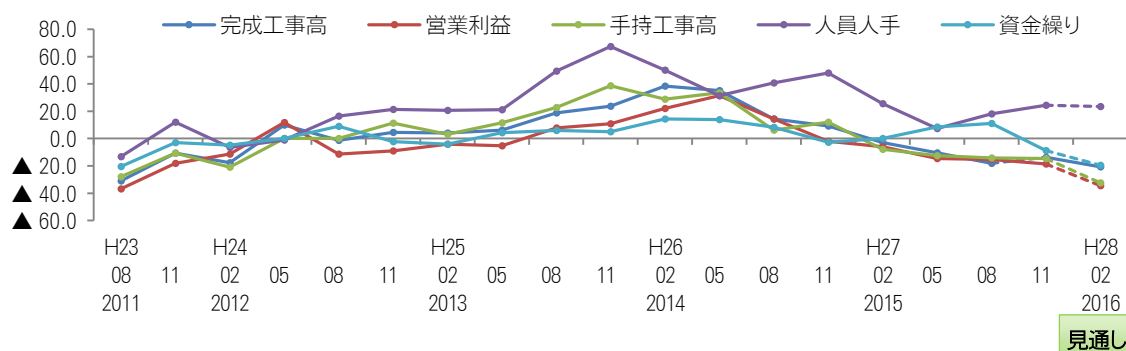
「自社の業況D I 値(前年同期比)」は▲8.8(前回調査比 3.3 ポイント上昇)と小むながら4期ぶりの改善となった。「各種D I 値(前年同期比)」をみると、「完成工事高」「人員・人手」が改善し、「営業利益」「手持工事高」「資金繰り」は悪化となっている。公共工事の減少等を背景として、業況は停滞傾向にある。各社のコメントからは、慢性的な人手不足が続く中、人材育成や人材確保に積極的に取り組んでいる企業が多くみられた。

先行き見通しは、「自社の業況D I 値(前年同期比)」が▲26.5(今回調査比 17.7 ポイント下落)と大幅な悪化が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況D I 値(前年同期比)」の推移



図表 5 建設業「各種D I 値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

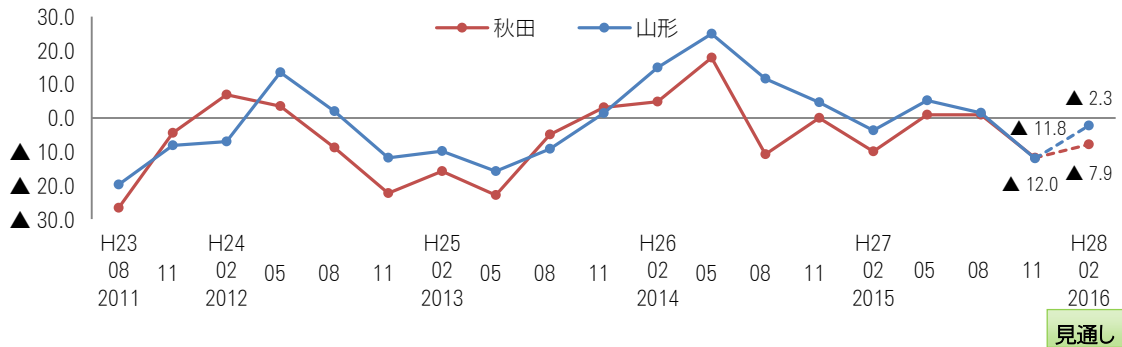
建設業 調査時 (サンプル数)	自社業況 (前年同期比)			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
H26.11 (n=108)	11.1	0.9	3.1	9.2	▲1.9	12.0	48.1	▲2.8
H27.02 (n=102)	▲6.8	▲17.9	▲12.0	▲2.9	▲5.9	▲7.8	25.5	0.0
H27.05 (n=96)	▲11.5	▲4.7	▲19.6	▲10.4	▲14.6	▲12.5	7.3	8.4
H27.08 (n=99)	▲12.1	▲0.6	▲23.0	▲18.2	▲15.2	▲14.2	18.2	11.1
<b>H27.11 (n=102)</b>	<b>▲8.8</b>	<b>(3.3)</b>	<b>▲7.1</b>	<b>▲13.7</b>	<b>▲18.7</b>	<b>▲14.7</b>	<b>24.5</b>	<b>▲8.8</b>
前回調査比	-	-	-	(4.5)	(▲3.5)	(▲0.5)	(6.3)	(▲19.9)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲26.5</b>	-	-	<b>▲20.6</b>	<b>▲34.4</b>	<b>▲32.4</b>	<b>23.5</b>	<b>▲19.6</b>
今回調査比	(▲17.7)	-	-	(▲6.9)	(▲15.7)	(▲17.7)	(▲1.0)	(▲10.8)

## ② 製造業

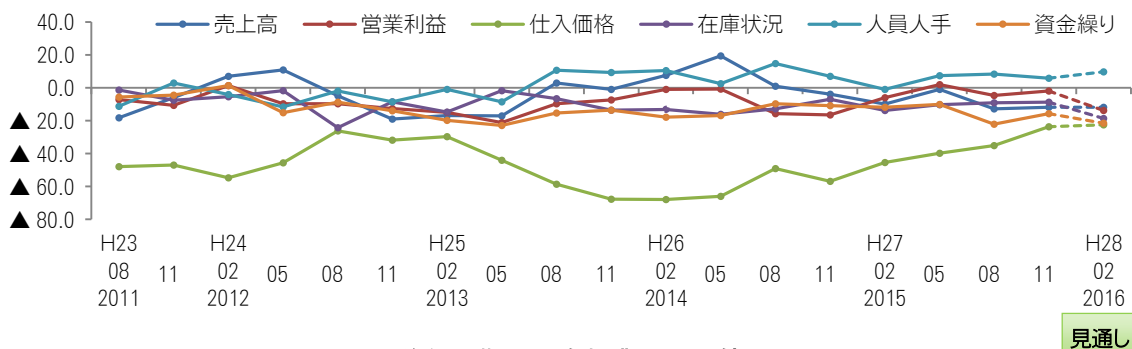
「自社の業況DI値(前年同期比)」は▲11.8(前回調査比 12.7ポイント下落)と大きく減少し、3期ぶりに「悪い」超となった。各種DI値(前年同期比)でみると、「人員・人手」を除く5項目が依然として「悪い」超ながらも改善となったが、総じてみれば、精密機関連などを中心として中国経済の減速等に伴う業況の悪化感がうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲7.9(今回調査比 3.9ポイント上昇)と改善が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表 7 製造業「各種DI値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況DI値

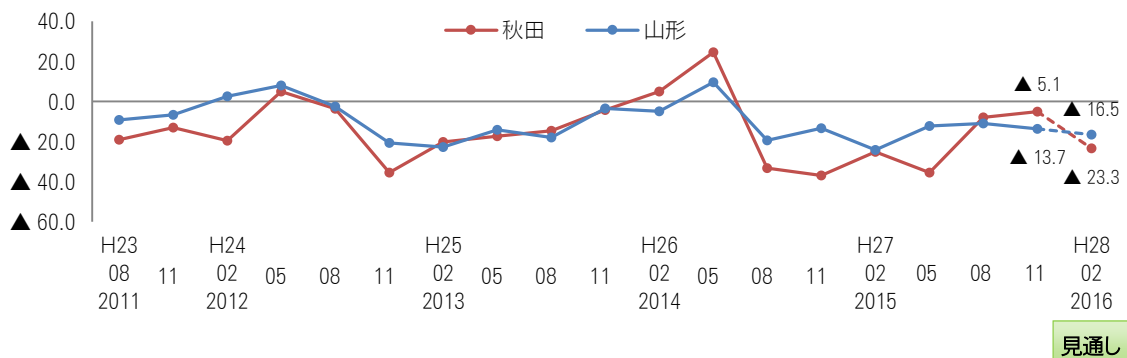
製造業 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H26.11(n=102)	0.0	10.8	▲1.9	▲3.9	▲16.6	▲56.8	▲6.9	6.9	▲10.8
H27.02(n=101)	▲9.9	▲9.9	▲10.8	▲9.9	▲6.0	▲45.5	▲13.8	▲0.9	▲11.8
H27.05(n=108)	0.9	10.8	▲19.8	▲0.9	1.9	▲39.8	▲10.2	7.4	▲10.1
H27.08(n=108)	0.9	▲0.0	▲1.8	▲12.9	▲4.7	▲35.1	▲9.2	8.3	▲22.2
H27.11(n=102)	▲11.8	(▲12.7)	▲12.0	▲11.8	▲2.0	▲23.6	▲8.8	5.9	▲15.7
前回調査比	-	-	-	(1.1)	(2.7)	(11.5)	(0.4)	(▲2.4)	(6.5)
先行き見通し	▲7.9	-	-	▲11.8	▲13.8	▲22.5	▲18.6	9.8	▲21.5
今回調査比	(3.9)	-	-	(0.0)	(▲11.8)	(1.1)	(▲9.8)	(3.9)	(▲5.8)

### ③ 卸・小売業

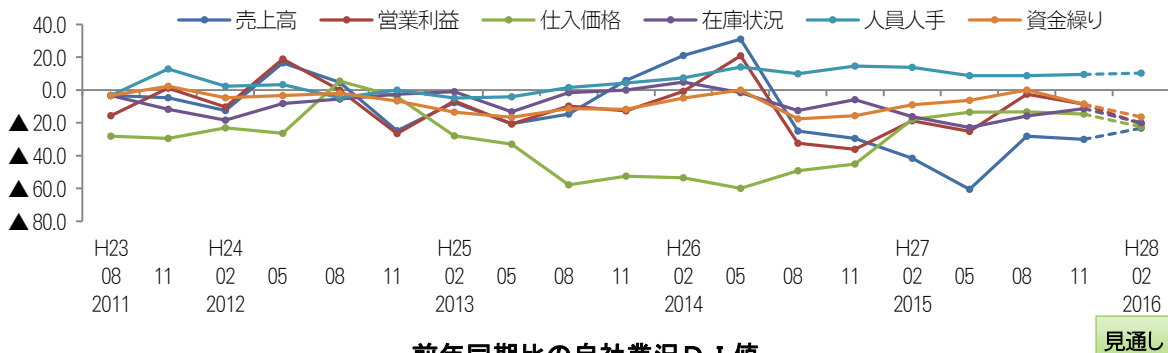
「自社の業況D I 値(前年同期比)」は▲5.1(前回調査比 2.8 ポイント上昇)と2期連続で改善した。「各種D I 値(前年同期比)」でみると、「在庫状況」「人員・人手」が改善し、「売上高」など4項目では悪化となった。各社の業況をみると、食料品や生活必需品関連など一部では需要の回復がみられるものの、その他では依然として消費の停滞が続いている状況がうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値(前年同期比)」が▲23.3(今回調査比 18.2 下落)と大幅な悪化が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況D I 値(前年同期比)」の推移



図表 9 卸・小売業「各種D I 値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

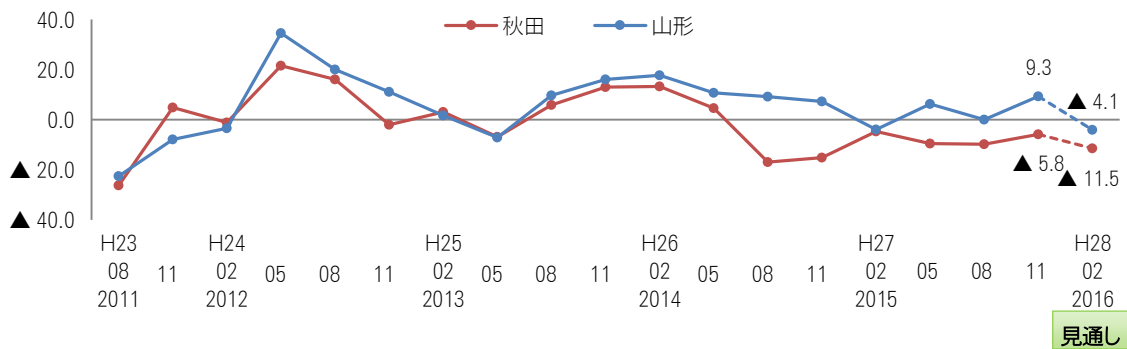
卸・小売業 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H26.11 (n=122)	▲36.9	▲3.6	▲22.5	▲29.5	▲36.1	▲45.1	▲5.8	14.7	▲15.6
H27.02 (n=123)	▲25.2	11.7	▲40.2	▲41.5	▲18.7	▲17.9	▲16.3	13.9	▲9.0
H27.05 (n=127)	▲35.5	▲10.3	▲30.1	▲60.6	▲25.2	▲13.4	▲22.8	8.7	▲6.3
H27.08 (n=114)	▲7.9	27.6	▲18.9	▲28.1	▲2.6	▲13.2	▲15.8	8.8	0.0
H27.11 (n=116)	▲5.1	(2.8)	▲15.8	▲30.1	▲8.6	▲14.7	▲11.3	9.5	▲8.6
前回調査比	-	-	-	(▲2.0)	(▲6.0)	(▲1.5)	(4.5)	(0.7)	(▲8.6)
先行き見通し	▲23.3	-	-	▲23.2	▲20.7	▲22.4	▲19.9	10.3	▲16.4
今回調査比	(▲18.2)	-	-	(6.9)	(▲12.1)	(▲7.7)	(▲8.6)	(0.8)	(▲7.8)

### ④ サービス業

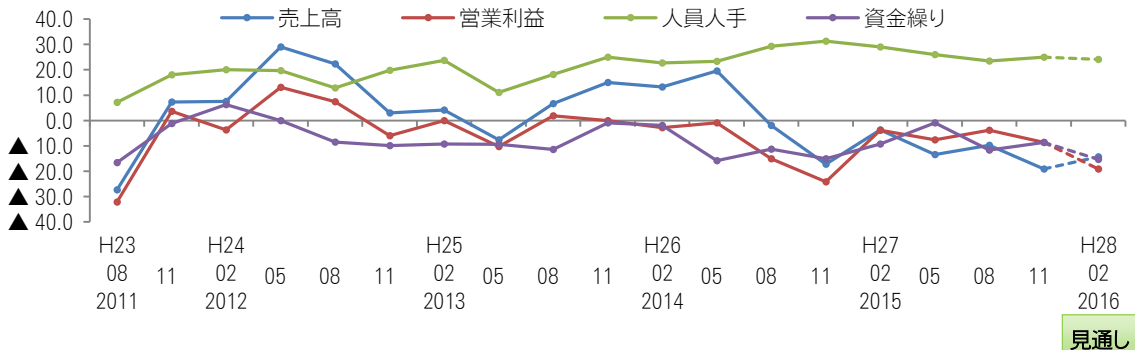
「自社の業況DI値(前年同期比)」は▲5.8(前回調査比4.0ポイント上昇)と3期ぶりに改善した。「各種DI値(前年同期比)」では、「人員・人手」「資金繰り」は改善した一方、「売上高」「営業利益」は2期ぶりに悪化した。各社の業況をみると、運送業では燃料価格の下落傾向などから業況回復がうかがえた一方、観光などレジャー関連では需要低迷による停滞感がうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲11.5(今回調査比5.7ポイント下落)と悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表 11 サービス業「各種DI値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況DI値

サービス業 調査時 (サンプル数)	自社業況 (前年同期比)			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
H26.11(n=99)	▲15.2	1.8	▲9.4	▲17.2	▲24.2	31.3	▲15.1
H27.02(n=107)	▲4.7	10.5	▲17.2	▲3.7	▲3.8	29.0	▲9.3
H27.05(n=104)	▲9.6	▲4.9	▲12.2	▲13.4	▲7.7	26.0	▲0.9
H27.08(n=102)	▲9.8	▲0.2	▲7.7	▲9.8	▲3.9	23.5	▲11.7
H27.11(n=104)	▲5.8	(4.0)	▲8.8	▲19.2	▲8.7	25.0	▲8.6
前回調査比	-	-	-	(▲9.4)	(▲4.8)	(15)	(3.1)
先行き見通し	▲11.5	-	-	▲14.4	▲19.2	24.1	▲15.4
今回調査比	(▲5.7)	-	-	(4.8)	(▲10.5)	(▲0.9)	(▲6.8)



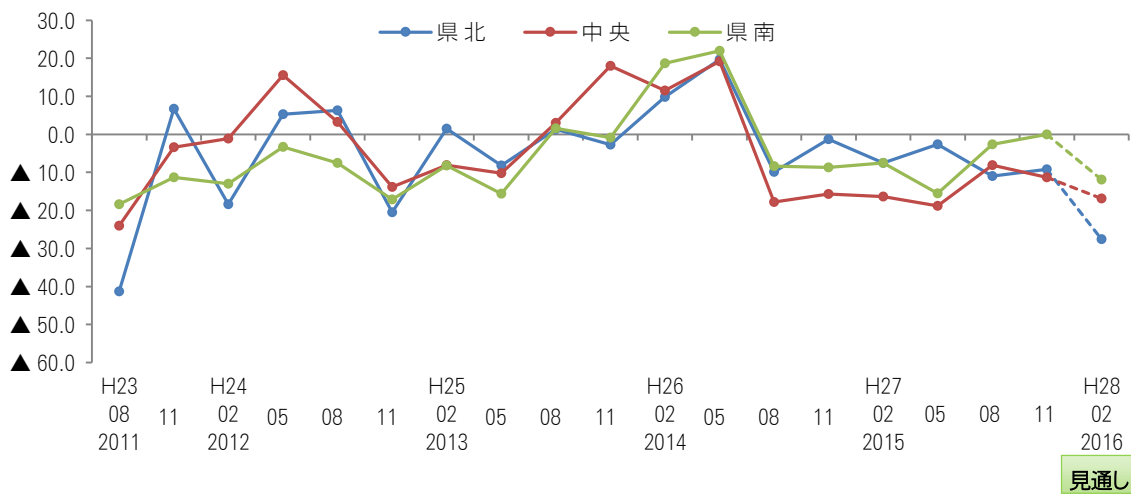
### 3. 地域別の動向

#### (1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値(前年同期比)」をみると、県北が▲9.2(前回調査比1.8ポイント上昇)、県南が0.0(同2.6ポイント上昇)と改善した一方、中央は▲11.3(同3.2ポイント下落)と悪化した。県南では2期連続の改善となり、5期続いていた「悪い」超状態を脱している。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」をみると、すべての地域で悪化が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況DI値

地域別 調査時 (サンプル数)	自社業況 (前年同期比)			
	全地域	県北	中央	県南
H 26.11 (n=431)	▲ 11.2	▲ 1.3	▲ 15.7	▲ 8.7
H 27.02 (n=433)	▲ 12.2	▲ 7.5	▲ 16.4	▲ 7.5
H 27.05 (n=435)	▲ 15.0	▲ 2.6	▲ 18.8	▲ 15.5
H 27.08 (n=423)	▲ 7.1	▲ 11.0	▲ 8.1	▲ 2.6
H 27.11 (n=424)	▲ 7.8	▲ 9.2	▲ 11.3	0.0
前回調査比	(▲ 0.7)	(1.8)	(▲ 3.2)	(2.6)
先行き見通し	▲ 17.5	▲ 27.6	▲ 16.9	▲ 11.9
今回調査比	(▲ 9.7)	(▲ 18.4)	(▲ 5.6)	(▲ 11.9)

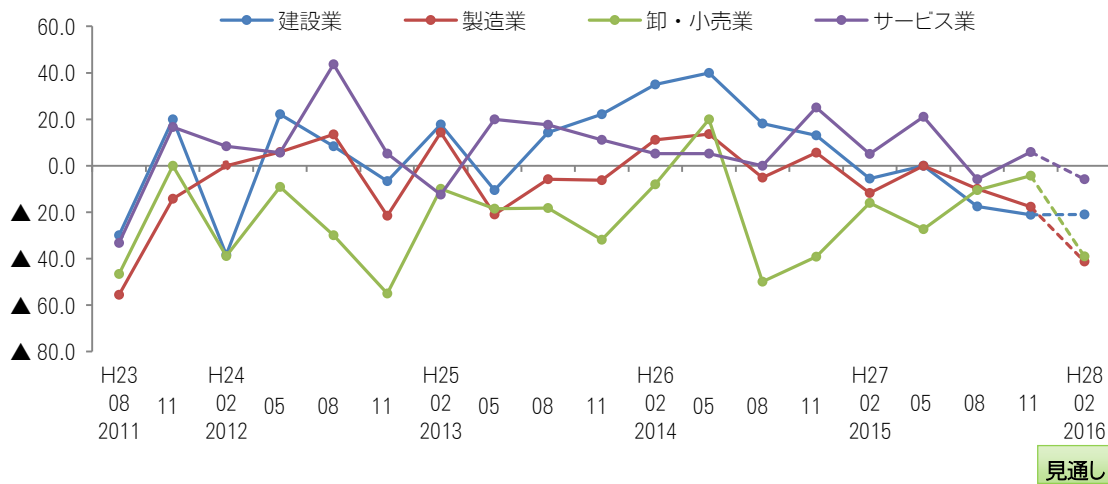
## (2) 地域別 D I 値の動向

### ① 県北

「自社の業況 D I 値(前年同期比)」は▲9.2(前回調査比 1.8 ポイント上昇)と 2 期ぶりに改善した。業種別では、サービス業が 5.9(同 11.8 ポイント上昇)と 2 期ぶりに改善し再び「良い」超に転じた一方、その他の業種は、いずれも依然として「悪い」超となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値(前年同期比)」が▲27.6(今回調査比 18.4 ポイント下落)と悪化が見込まれている。業種別では、建設業ではほぼ横ばい、その他の 3 業種では悪化の見通しとなっている。

図表 13 県北業種別「自社業況 D I 値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

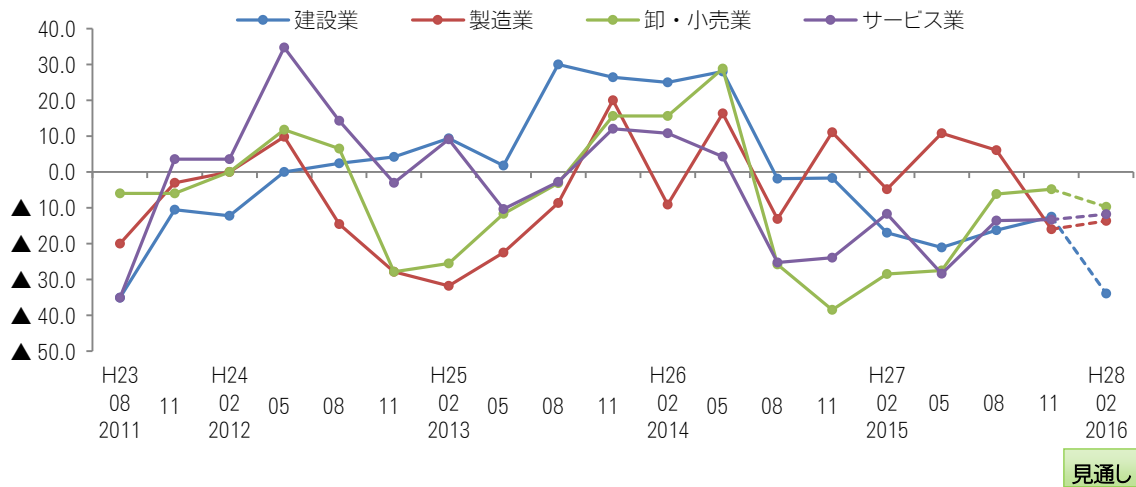
県北 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
H 26.11 (n=80)	▲ 1.3	13.0	5.6	▲ 39.2	25.0
H 27.02 (n=80)	▲ 7.5	▲ 5.6	▲ 11.8	▲ 16.0	5.0
H 27.05 (n=78)	▲ 2.6	0.0	0.0	▲ 27.3	21.0
H 27.08 (n=73)	▲ 11.0	▲ 17.6	▲ 10.0	▲ 10.5	▲ 5.9
H 27.11 (n=76)	▲ 9.2	▲ 21.1	▲ 17.7	▲ 4.3	5.9
前回調査比	(1.8)	(▲ 3.5)	(▲ 7.7)	(6.2)	(11.8)
先行き見通し	▲ 27.6	▲ 21.0	▲ 41.2	▲ 39.1	▲ 5.8
今回調査比	(▲ 18.4)	(0.1)	(▲ 23.5)	(▲ 34.8)	(▲ 11.7)

## ② 中央

「自社の業況D I 値(前年同期比)」は▲11.3(前回調査比 3.2 ポイント下落)と2期ぶりに悪化した。業種別では、建設業とサービス業は2期連続、卸・小売業では4期連続で改善した一方、製造業は2期連続で悪化し、3期ぶりに「悪い」超となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値(前年同期比)」が▲16.9(今回調査比 5.6ポイント下落)と悪化が見込まれている。業種別では、製造業とサービス業で改善、建設業と卸・小売業で悪化が見込まれている。

図表 14 中央業種別「自社業況D I 値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

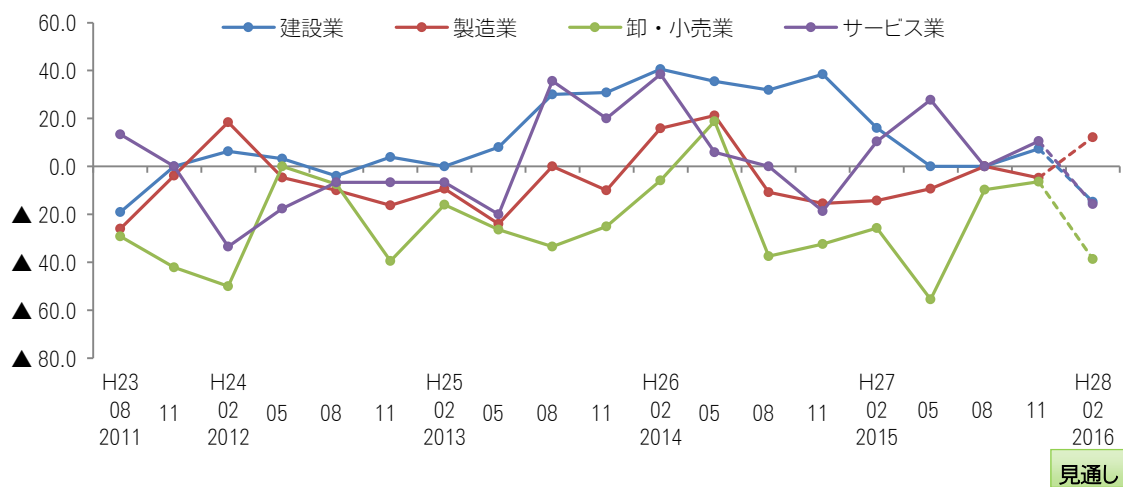
中央 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
H 26.11 (n=236)	▲ 15.7	▲ 1.7	11.1	▲ 38.5	▲ 23.9
H 27.02 (n=232)	▲ 16.4	▲ 17.0	▲ 4.8	▲ 28.5	▲ 11.7
H 27.05 (n=234)	▲ 18.8	▲ 21.1	10.8	▲ 27.5	▲ 28.4
H 27.08 (n=234)	▲ 8.1	▲ 16.3	6.1	▲ 6.2	▲ 13.6
H 27.11 (n=230)	▲ 11.3	▲ 12.5	▲ 16.0	▲ 4.8	▲ 13.3
前回調査比	(▲ 3.2)	(3.8)	(▲ 22.1)	(1.4)	(0.3)
先行き見通し	▲ 16.9	▲ 33.9	▲ 13.7	▲ 9.7	▲ 11.8
今回調査比	(▲ 5.6)	(▲ 21.4)	(2.3)	(▲ 4.9)	(1.5)

### ③ 県南

「自社の業況DI値(前年同期比)」は0.0(前回調査比2.6ポイント上昇)と2期連続で改善し、5期続いていた「悪い」超状態を脱した。業種別にみると、製造業が▲4.8(同4.8ポイント下落)と4期ぶりに悪化した一方、他の3業種は改善しており、中でもサービス業は10.6(同10.6ポイント上昇)と改善幅が大きくなっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲11.9(今回調査比11.9ポイント下落)と悪化が見込まれている。業種別では製造業で大幅な改善が見込まれている一方、今回改善した他の3業種では悪化が見込まれている。

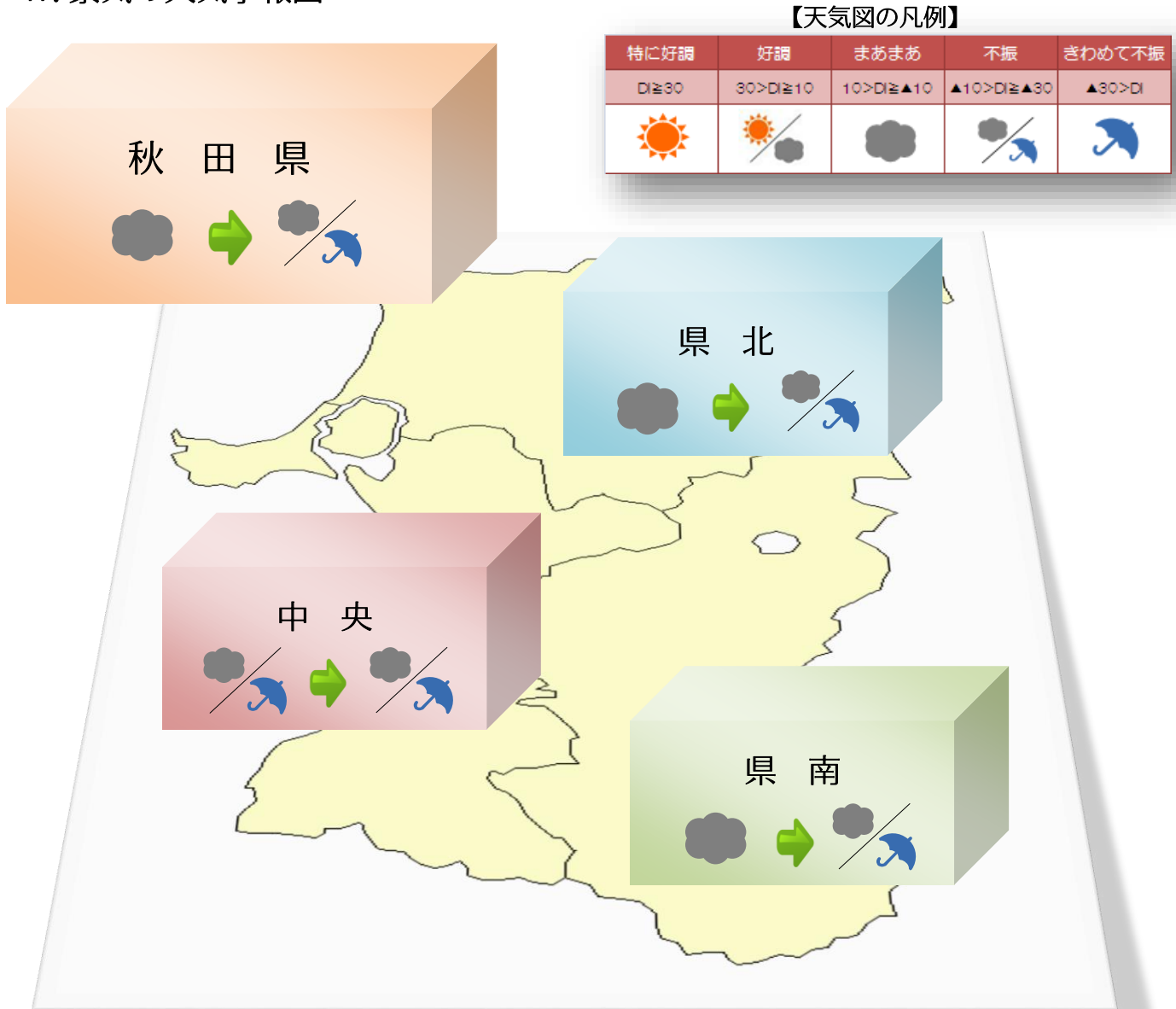
図表 15 県南業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況DI値

県南 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
H 26.11 (n=115)	▲ 8.7	38.5	▲ 15.4	▲ 32.4	▲ 18.7
H 27.02 (n=121)	▲ 7.5	16.0	▲ 14.3	▲ 25.7	10.5
H 27.5 (n=123)	▲ 15.5	0.0	▲ 9.3	▲ 55.5	27.8
H 27.8 (n=116)	▲ 2.6	0.0	0.0	▲ 9.7	0.0
<b>H 27.11 (n=118)</b>	<b>0.0</b>	<b>7.4</b>	<b>▲ 4.8</b>	<b>▲ 6.4</b>	<b>10.6</b>
前回調査比	(2.6)	(7.4)	(▲ 4.8)	(3.3)	(10.6)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 11.9</b>	<b>▲ 14.8</b>	<b>12.2</b>	<b>▲ 38.7</b>	<b>▲ 15.7</b>
今回調査比	(▲ 11.9)	(▲ 22.2)	(17.0)	(▲ 32.3)	(▲ 26.3)

## II. 景気の天気予報図



今期の概況

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

来期の見通し

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

### III. 特別調査

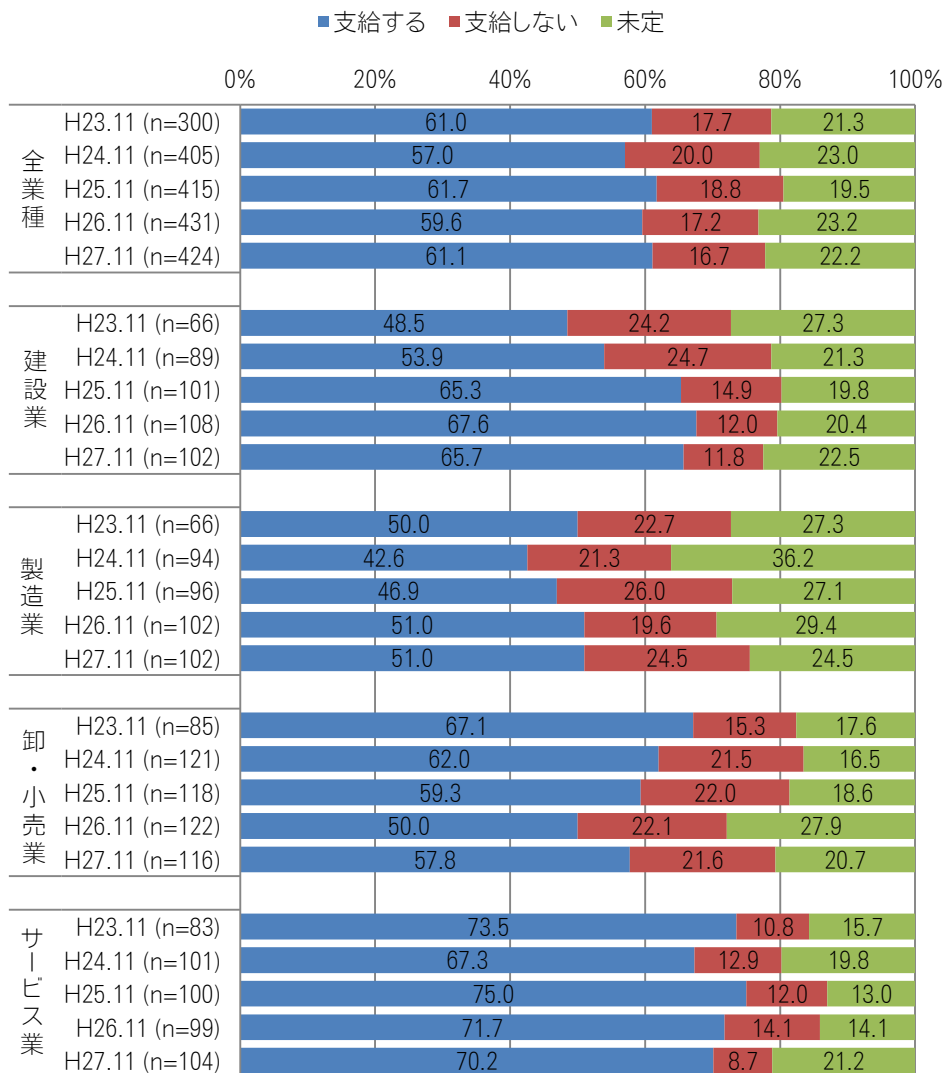
#### 1. 冬季ボーナスについて

##### (1) 支給予定動向

冬季ボーナスの支給予定について尋ねたところ、全業種で見ると「支給する」と回答した企業の割合は 61.1% (前年比 1.5 ポイント上昇) と、前年に比べて若干上昇した。

業種別にみると、「支給する」と回答した企業の割合は、建設業が 65.7% (同 1.9 ポイント低下)、製造業が 51.0% (同 ±0)、卸・小売業が 57.8% (同 7.8 ポイント上昇)、サービス業が 70.2% (同 1.5 ポイント低下) と、卸・小売業のみが上昇している。

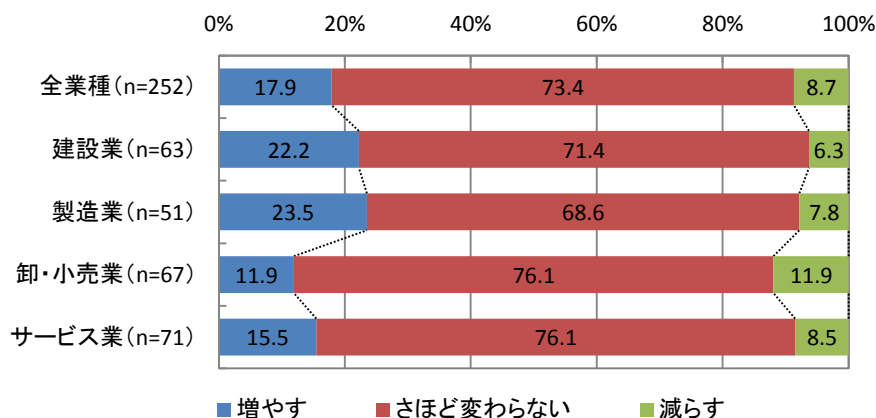
図表 16 業種別「冬季ボーナス支給動向」の推移



また、今季「支給する」と回答した企業に対し、昨年冬季と比べて支給額を増やすかどうか尋ねたところ、全業種でみると「さほど変わらない」と回答した企業の割合が最も高く、73.4%であった。

業種別にみると、「増やす」と回答した企業の割合が最も高いのは製造業(23.5%)で、一方、最も低いのは卸・小売業(11.9%)となった。

図表 17 業種別「冬季ボーナスを“支給する”企業の方針」



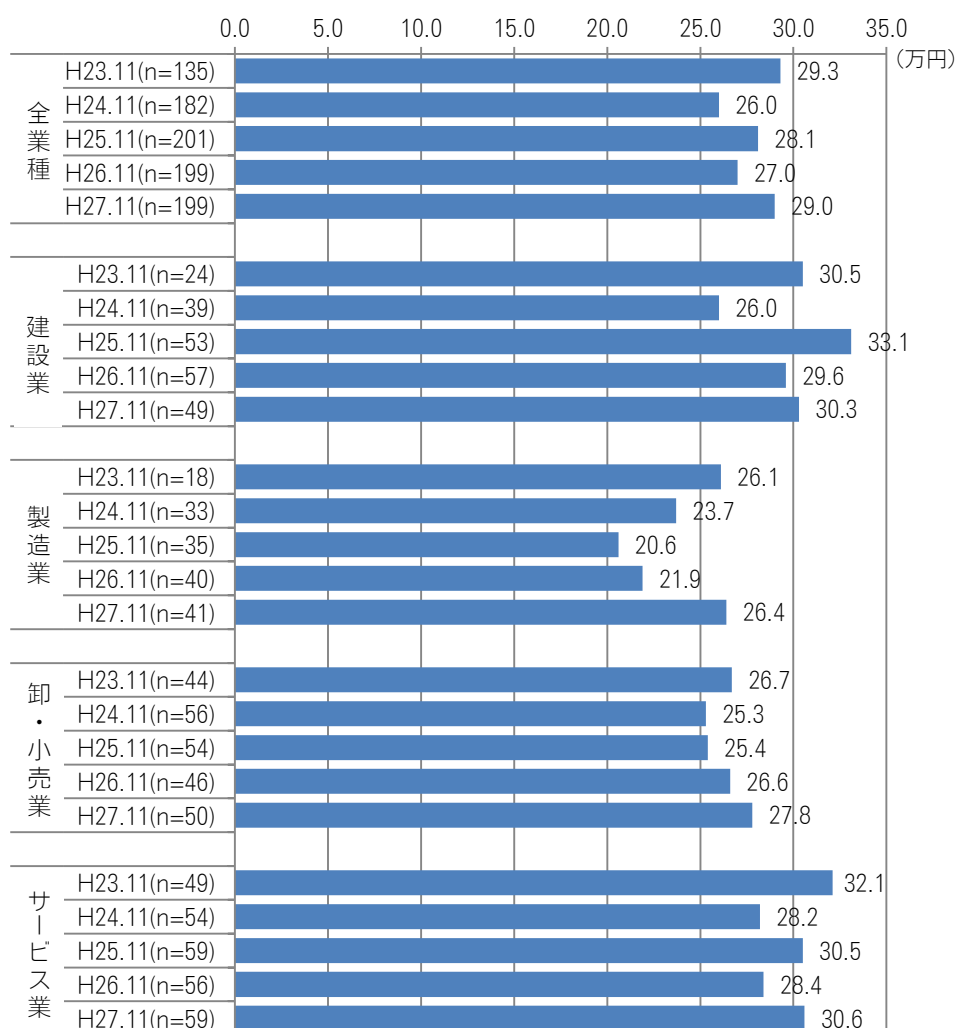
## (2) 支給予定額

冬季ボーナスの支給予定額については、全業種平均で 29.0 万円となり、昨年に比べて 2.0 万円の増加となる見込みである。業種別に見ると、サービス業の 30.6 万円が最も高く、一方、製造業の 26.4 万円が最も低くなっている。

平均支給予定額は、全業種で「20 万円以上 30 万円未満」が最も多く、32.2%となっている(図表 19)。

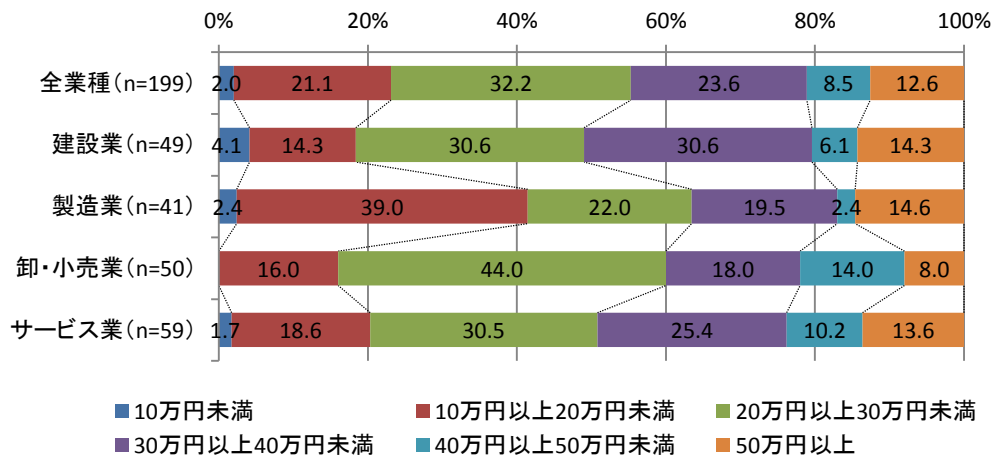
平均支給予定月数は、全業種で「1.0 ヶ月以上 1.5 ヶ月未満」が最も多く、41.7%となっている(図表 20)。

図表 18 業種別「冬季ボーナスの平均支給予定額」の推移

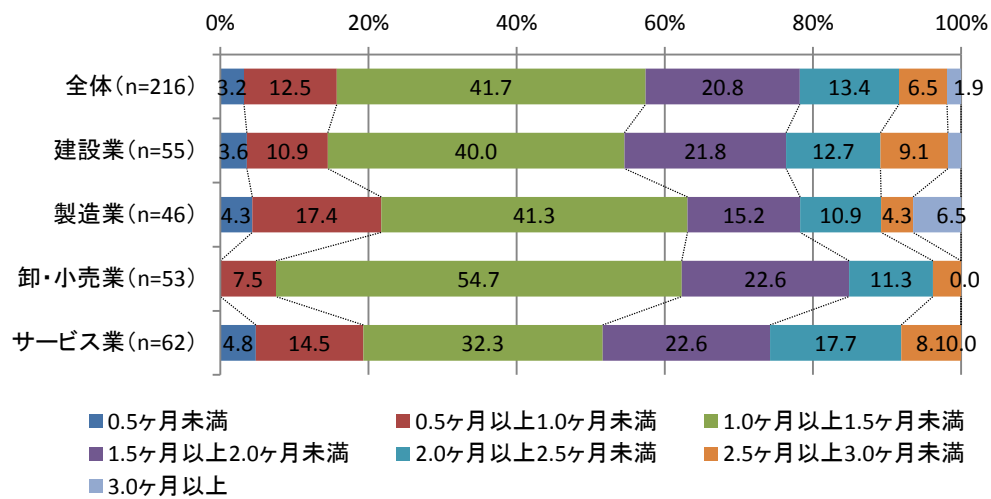




図表 19 業種別「冬季ボーナスの平均支給予定額」



図表 20 業種別「冬季ボーナスの平均支給予定月数」



<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	28	27	28	26	109
中央	82	68	99	96	345
県南	41	64	50	37	192
合計	151	159	177	159	646

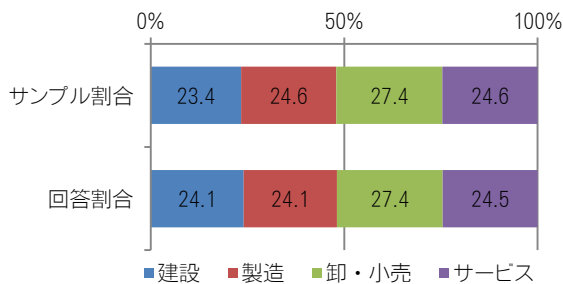
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	19	17	23	17	76
中央	56	44	62	68	230
県南	27	41	31	19	118
合計	102	102	116	104	424

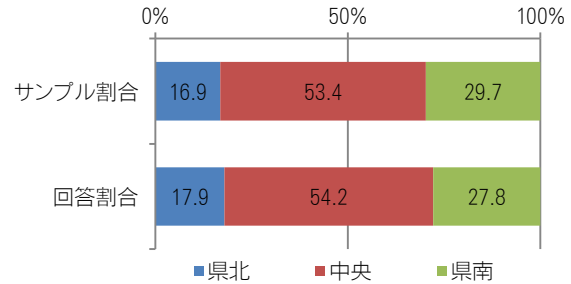
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	67.9	63.0	82.1	65.4	69.7
中央	68.3	64.7	62.6	70.8	66.7
県南	65.9	64.1	62.0	51.4	61.5
合計	67.5	64.2	65.5	65.4	65.6

(業種別：%)



(地域別：%)



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査(一部FAXを利用)。

● 調査期間

平成27年11月2日(月)～13日(金)

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
県北	大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村
中央	秋田市、由利本荘市、潟上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
県南	横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

## ● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について3肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。

項目	選択肢 (択一方式)		
自社の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製(商)品の仕入価(卸・小売業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

(注)各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を採っている。

## ● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれD I値を算出する。D I値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、算出方法は次の通り。

例)自社の業況D I値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況D I値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向(良くなっているか、悪くなっているか)についても分かる。

ちなみに、他のD I値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと)を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

### <お知らせ>

F S N会員専用ホームページ(<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>)にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ(<http://www.f-ric.co.jp/>)「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

### <お問い合わせ先>

株式会社フィデア総合研究所 研究開発グループ／後藤正彦(秋田本部)／松田美由紀(山形本社)

#### ・山形本社

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-21 荘銀山形ビル 8F  
TEL : 023-626-9017 Fax : 023-626-9038 E-mail : kenkyuu@f-ric.co.jp  
URL : <http://www.f-ric.co.jp>

#### ・秋田本部

〒010-0001 秋田県秋田市中通 3-1-41 北都銀行本店 3F  
TEL : 018-837-1727 Fax : 023-834-5508